

令和4年度 宗谷複式教育研究連盟 複式実践講座開催要項

1 目的

- ・初めて複式学級を担当する先生や初任者の先生方の学びの場とする。
- ・複式授業の進め方、授業づくりの基本を学ぶ。
- ・参加者の課題意識を共有し、学びのネットワーク作りのきっかけとする。

2 主催 宗谷複式教育連盟

3 開催日時、方法及び会場

(1) 日時 稚内会場 5月12日(木) 14:30~16:30

枝幸会場 5月13日(金) 14:30~16:30

(2) 場所 稚内会場 声問小学校体育館

枝幸会場 枝幸町コミュニティーセンター1F

(3) 日程 14:00~14:30 受付(接続受付)

14:30~14:40 開会式

14:40~15:40 講座 第1部(60分)

14:40~14:50 休憩 (10分)

15:50~16:20 講座 第2部(30分)

16:20~16:30 閉会式

(4) 開催方法 稚内: 参集及び Zoom による web 配信のハイブリット方式

枝幸: 参集

※参加者は各自 Zoom のつながるパソコンを準備願います。

※接続 ID、パスワードは4月26日(火)に参加校へ連絡します。

※コロナの状況によっては全て Zoom 開催とします。

(4) 開催会場 枝幸町中央コミュニティーセンター

4 講師 北海道教育大学旭川校 芳賀 均 准教授

5 対象

宗谷複式教育連盟加盟校、関係教育委員会

6 内容

第1部 へき地小規模複式のメリットを最大限に活かす授業づくり

第2部 小規模複式ならではの実践交流(グループ協議)

7 受講申込み

別紙申込用紙にて手続きをお願いします。

※申込期限 令和4年4月22日(金)

8 事前アンケート

別紙事前アンケートに回答をお願いします。締め切り4月23日(金)

9 問合せ・申込先

宗谷複式教育研究連盟研究部長(枝幸町立音標小学校長)

菊地 俊雄

電話 0163-66-1073

E-mail otosyo-koutyo153@flute.ocn.ne.jp

2022年5月12・13日 宗谷管内複式教育実践講座記録

第1部

北海道教育大学旭川校准教授 芳賀均先生による講演

テーマ 「へき地小規模複式のメリットを最大限に活かす授業づくり」

～へき地校は楽しい～



学校での勉強は、「**将来のためにではなく、今のため**」→楽しさを「**手段**」にするのではなく、「**目的**」にすること。～「楽しさ」は主体的に学び態度の意欲になることを基に、「児童の意欲が高まる取り組み」、「自治が育つ仕組み」、「環境を整える大切さ」など芳賀先生が実践された様子の動画（劇指導・漢字指導・算数指導など）を見て、刺激を受けていました。すぐに実践に役立つ内容のお話を聴くことができました。

第2部

講座前のアンケートをまとめ、悩みの大きかった「授業の進め方」、「思考のさせ方、集団の育成」、「授業準備」の3つの観点に関わって話し合いました。

- 1 「授業の進め方」では、学力差の悩みが交流されました。
- 2 「思考のさせ方、集団の育成」に関わっては、対話的な学習のさせ方、リーダーの育成やコミュニケーション能力育成の難しさが語られました。
- 3 「授業準備」では、支援員との協力の在り方について話されました。

交流後の芳賀先生のアドバイスは

- 1 「授業の進め方」で早く終わる児童と遅く終わる児童の差をうめるには、予習を使った方法、できる児童の考え方を授業中でみんなのものにする方法などを教えていただけました。
- 2 「思考のさせ方、集団の育成」では、問題の答えが後になる方法（＝コナン式な方法）だけでなく、問題の答えを先に言いなぜそうなるのか考えさせる方法（＝古畑任三郎式な方法）もあるとアドバイスを受けました。
- 3 「授業準備」では、コミュニケーションの在り方が人間関係構築の大切さについてご助言をいただきました。



まとめ

この実践講座を通して、

子どもの**変容を支援できる授業づくり**の大切さ＝「**楽しさ**」を「**手段**」でなく「**目的**」にする大切さを学んだ。

具体的には

- ①楽しい授業内容の仕組みづくり
- ②自治力が高まる活動の仕組みづくり
- ③教室環境づくり
- ④評価の在り方・・・について、楽しさを「目的」にするいろいろな指導・支援の方法を学ぶことができました。

